

気宇壮大(学校だより)

第19号 平成20年3月1日発行

祝卒業! 第21期生の旅立ちに寄せて

校長 坂根 文夫

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。また、保護者の皆様にも、お子様のご卒業を心よりお喜び申し上げますとともに、三年間、本校の教育に対してご理解ご協力を賜りましたことに、改めて厚くお礼を申し上げます。

卒業生の皆さんは、これまで学習活動、学校行事、部活動などとおして、知・徳を磨き、身体を鍛え、社会性を身につけつつ、所定の単位を履修・修得し、それぞれが新たな道を歩むことになりました。これまで皆さんを慈しみ育ててこられた保護者の皆様、励まし支えてきた多くの先生方や関係者の方々も、皆さんの卒業を祝福し、さらなる飛躍と活躍を期待しておられることと思います。どうか、今の感動をしっかりと胸に刻み、自分を育て、導いていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、力強く一步を踏み出してください。

さて、皆さんの栄えある門出にあたり、以下、私の三つの願いを示します。心のどこかに留め置いて、今後の指針としてほしいと思います。

まず、皆さんには、しっかりと自らをコントロールし、周囲から「自立した人だ」と言われるようになってほしいということです。皆さんは、自分が求めようとしなくても、これまで多くの人々や法律の庇護の元にあり、その成長を見守り手助けされてきました。時には、やや窮屈な感じを抱いたり、干渉されているとして反発を感じたこともあるかもしれません。しかし、皆さんの心身の成長を図り、さまざまな状況に対処する力を育成するには、そうした支えが必要でした。しかし、これからは、自分自身の判断や独自の行動を積み重ね、自分へのよき理解者や協力者、助言者を多く獲得して、自らを磨き、一人の社会人として地域・社会に認められ、自分の存在感を高める生き方を目指すことが大切です。今年、何度か皆さんに話した、「己の欲せざることを人に施すことなかれ」の格言を胸に自らをしっかりと律し、常に気持ちのいい「あいさつ」を心がけ、思いやりの心を忘れずに、人を引きつける豊かな人間性と品格を備えた人になってほしいと思います。そのためにも、どうか焦らないでください。結果や成果を早く求めようとすると、どうしても目先のことに目が向いてしまいます。時間をかけなければできないことがあります、やってもなかなか結果のでないこともあります。しかし、諦めずに試行錯誤や努力を続ければ、自分の中に変化が起きるはず。この変化こそ、未知の「自分」の姿であり、それがやがて周囲からの理解や信頼を得て、皆さん自身を「自立」へと導くことになるのです。

次に、現代社会を生きる力としての「情報リテラシー」を磨いてほしいということです。巷に溢れる多くの情報の中で、何が正しいのか、主体的で、しっかりとした判断ができること、そして、自分の情報収集力、分析力を駆使して、くれぐれも賢明な選択をし、自らの豊かな情操を蓄え、広

い度量と優しい心で、自分の「ことば」を多くの人に発信してほしいと思います。最近、インターネットや携帯電話の高機能化によって、匿名性を悪用した犯罪や人権侵害が目立っており、在学中の皆さんも、講演会や授業をとおして、情報化社会における「ネチケツ」、規範意識のあり方を学んできました。悪意に満ちた書き込みや思いもよらない個人情報の流出、振り込め詐欺など、私達の周りには、まだ、十分な対策の取られていない隙間を狙って、多くの事件が発生しています。しかし、すでに法的整備も進みつつあり、インターネット社会も完全な匿名性は確保できなくなり、犯人の特定や検挙率も上がりつつあります。どうか、加害者にならないことはもちろん、被害者にならないためにも、ルールやモラルをしっかりと守ってください。また、本校では、「総合的な学習の時間」をとおして、高度情報社会を生きる力、「情報リテラシー」の育成に力を注いできました。複数の新聞を比較読みすることで、情報発信メディアの意図を読み解く力を付け、小論文作成によって、論理的に整った文章によって自分の意図を的確に相手に発信する力の養成をめざすなど、「ことば」の教育の観点からも積極的に取り組んできました。こうした力が、今日の錯綜する多くの情報を、適切に取捨選択し、正しく理解し、思考を深め、コミュニケーション力をアップさせ、皆さんを支えてくれるたくましい力となり、人間に優しい情報社会を築くために、賢明な生き方、豊かな生き方を導いてくれるものと信じています。

最後に、世界を、地球を視野に入れた生き方をしてほしいということです。これから皆さんがチャレンジする社会は、日々、数多くの課題が浮き彫りになり、これまでに人類が経験したことのないような、まさに未曾有の問題にも立ち向かわなければならないという厳しい状況もあります。たとえば、我が国経済においてはグローバル化が進み、昨年来、世界で起きている投機的原油高やアメリカのサブプライムローン問題によって、身近に生活用品や公共料金の値上げなどが拡大し、私達に直接影響を及ぼしつつあります。さらに、地球規模で進む温暖化や環境問題も深刻化し、すでに生物や生態系への影響・変化が顕著になってきています。確かに、状況の厳しさから、今となつてはもう手遅れで、展望もなく、なす術もないように考えてしまいがちです。しかし、人間がしたことは、人間が解決するしかないともいえます。世界中で、「もったいない」の精神が見直され、リサイクル、リユース、リデュースなどを進め、積極的に環境に負荷のかからない生き方を選択をし、個人レベルでの取り組みを進めている人たちが増えつつあります。将来ある皆さんにも、ぜひ、地球的視野に立って、日々の生活を見直し、自分ができることから実行するという気構えを持っていただきたいと思います。

本校では、生徒と教職員が夢を共有し、その実現にねばり強く取り組む姿勢を持ち、教科学習や進路学習、学校行事、生徒会活動や部活動など、さまざまな場面において精力的に取り組んできました。私たちは、皆さんにとって必要不可欠なハードルを、ある時は高く、ある時は多く設定し、力の伸長を図ってきたつもりです。ハードルの高低や多寡について、一抹の反省はあるものの、皆さんはそれらをしっかりと乗り越えて、本日を迎えました。これまで常に「高き峰」を仰ぎ、目標を高く、日々、切磋琢磨した本校卒業生であることに自信と誇りをもって、自己実現に挑んでください。挫折や迷いを生じたときは、もう一度原点に戻るつもりで母校を訪ねてください。きっと、新しい力が湧いてくるはず。これからも健康に留意し、自分の選んだ道を邁進してください。

「高き峰^{まなびや}仰ぐ学舎^{まなびや}築立ちゆく若き命に無限の天空」 文人

「気宇壮大」の校訓のもと、本校で培ったすべての力を発揮して、皆さんが、無限の可能性に向かって雄飛されんことを願って、饒の言葉といたします。

